

## 令和2年度 学校評議員会 会議録

1 日 時 令和3年2月10日（水）13：30～15：30

※例年2回実施していたが今年度はコロナ感染症対応により1回のみとした。

2 場 所 本校 大会議室

3 出席者

学校評議員 畠 山 栄 一 （JA新しいわて 常務理事）  
学校評議員 福 島 啓 一 （前 岩手県県南広域振興局農林振興センター）  
学校評議員 久 慈 智 春 （国際ソロプチミスト盛岡）  
学校評議員 松 浦 美 智 子 （本校同窓会 副幹事長）  
学校評議員 三 浦 猛 雄 （滝沢市立滝沢第二中学校 校長）  
学校評議員 柵 山 和 代 （前 本校PTA役員）  
学校評議員 岡 山 侑 （川前地区自治会副会長）

<学校側>

校 長 神 山 秀 市  
副 校 長 菅 野 修 一  
副 校 長 千 葉 久  
事 務 長 浅 沼 卓 雄  
総務課長 谷 地 禎 彦  
教務課長 小 山 智 弘  
生徒指導課長 北 山 安 貞  
進路指導課長 藤 本 正 彦  
保健厚生課長 宇津宮 誠  
農 場 長 菊 池 文 明  
舎 監 長 河 野 裕  
図書課長 亀 井 敦 子

4 次 第

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長挨拶
- (3) 各分掌取組状況について
- (4) 進路決定状況について
- (5) 新聞掲載情報について
- (6) 学校評価結果について
- (7) 意見交換

<A委員より>

コロナ禍において、生徒達の生活の様子が落ち着いている、問題行動も減少しているとの話があった。楽しみにしていた行事が無くなったり、思うように活動ができなかったり、夢や希望を失うことなどが懸念され、生徒はストレスを受けていると推察する。

問題事案が大幅に減ったのは、先生方の指導の成果だと思う。

授業の充実など工夫されている内容を教えていただきたい。

<回答>

⇒生徒指導課

指導している内容は、昨年度と変わっていない。

今年の生徒は、教員の話聞き入れることができる。理解力と実践力が備わっている。問題行動を繰り返す生徒はいない。

コロナ感染症防止で行事が中止された中、スポーツ大会は、3密回避の制約がある中、どのようにすれば実現できるか生徒とともに方法を考え実施した。

巣ごもりの生活の中で、生徒は、スマートフォンを使ってエネルギーを発散していることも要因としてあるのではないか。

⇒教務・情報課

コロナ禍で欠席は減少した。学校に出られない状況を経験し、「友人の有り難み」や「学校の有り難み」に気づき、学校は楽しいところとの認識を新たにしたのではないか。

授業は大きく変えていないが、この状況下、何ができるか、教える側が工夫していることを生徒は感じ取ってくれている部分もあるかもしれない。

⇒校長

生徒達のストレスは溜まっていると思う。

廊下で大きな声を出す生徒もいる。朝や昼休みに体育館で体を動かしている生徒が増えたように感じる。生徒は生徒なりに、ストレスの吐き出し先を工夫している。

< A 委員より >

生徒の悩みへの寄り添い方で工夫されている点を教えてほしい。

相談の内容は？

<回答>

⇒保健厚生・教育相談課

カウンセラーによる教育相談回数は増加した。昨年度までは県費での対応のみだったが、今年度は、県費 8 回のほか、保護者から頂戴している団体の経費の負担で 7 回増やした。

内容は、友人関係についての相談が多いと認識している。

⇒校長

問題を抱える生徒もいる。そのような生徒のケアを教育相談で対応している。中学校からの情報提供があれば、入学当初から支援員が寄り添うなど早い時点から個別対応を行うことにしている。

< A 委員より >

コロナ禍で就職の内定取消しは無かったか。生徒が希望する会社で、採用しなくなったケース、人数を制限することとなったケースは無かったか？

< 回答 >

⇒進路指導課

就職内定の取り消しは発生していない。

管内の製造業 1 社から、事前に本校からは採用しない旨の通告があったため応募しなかった。試験直前に、業績見直しを理由に採用試験を取りやめた会社が 1 社あった。

コロナ禍で求人数が減少したとはいえ、生徒は応募先を選択できる状況にある。

< B 委員より >

評価手法を見直していただいた。

生徒、保護者の評価が、前年度に比べ高い評価となっており、良い傾向にあると思う。

全国的に、寮などでクラスター発生したとの報道を目にする。本校では、集団生活をしている中でコロナ感染症が発生していないのは何よりだ。

これら学校の努力に感謝する。

以前苦言を呈した公務員受検の件、合格者が増加したとの報告をいただいた。

喜ばしい。

< C 委員より >

学校評価を数年分見てみた。生徒、保護者が変わっているにもかかわらず、毎回、同じ項目が低評価になっている。

毎年、少しではあるが改善されてポイントが上がっているのが見て取れる。

危険な箇所の改善は、努力されていると思うがポイント的には低い状況にある。

< 回答 >

⇒副校長

今年度の事故発生を受けて、各部活動の範囲が面的に交差する部分を改善するか話し合いを重ねている。部活動のあり方についてもゼロベースから見直しを行ったところである。

< D 委員より >

学校評価の数値が前年度に比べ向上している。

教職員の努力、熱意が生徒に伝わったものとする。

当方は、盛岡農業高等学校の生徒を採用する立場でもある。

地域の団体との連携が重要な多様な仕事に従事してもらう。

能力を高める取り組みを行っているが認識しているが、継続的に取り組んでいただきたい。また、豊かな個性を伸ばしていただくなど、生徒の成長に向けて更なるご努力を願いたい。

< E 委員より >

学校評価で学校の現状を窺った。

▲の項目を改善され、少しでもポイントが上げられるよう努力いただき、品質を更に向上させていただければと思う。

< F 委員より >

貴校で開催された「スマート農業」学習会に参加した本校生徒は、感銘を受けて帰ってきた。農業の素晴らしさを感じてきた様子である。

学校評価のポイントの高さにビックリした。

先ほど、評価の自由記載でマイナス面として「先生の無駄話が多い」が紹介されたが、先生の無駄話は大事だ。生き方指導に繋がるもので否定したい。語れる教師を育てたいものだ。

中学校もコロナ禍で各種行事が延期・中止になっている。コロナ禍というピンチを「やらなくても良い事業」を洗い出す機会と捉えているところ。貴校の取り組みで、新たな発見があれば教えてほしい。

< 回答 >

⇒総務課

PTA 総会の中止に伴い書面決議を行った。

総会資料を保護者あて郵送。議決書の回収率は 91%であった。昨今の総会出席率約 10%を大きく上回った。

本校の特徴として保護者が時間をかけて全県から参集する実態があるので、今後、今回の方法も選択肢の一つになり得ると思慮する。

⇒寮務課

義務寮は本年度取りやめたが、せっかくの機会であるので、体験させてあげたかった。

⇒副校長

中学校で、見直しを図っている事項があれば紹介いただきたい。

< G 委員より >

中学校の PTA 活動等で、無くても出来たもの、開催回数を減らしても弊害がなかったもの等について、点検していくことにしている。

各種会議において、重複して説明・協議に対応いただいている役員等の存在もあり、精査したい。

盛岡農業高等学校の学校評議委員会は年 2 回の開催であるが、今年と同様、年度当初に資料のみ提供いただき、この時期に 1 回開催することにしても、次年度に反映できるのではないか。

学校評価は、生徒のほうが保護者より高い評価となっていることがすばらしい。コロナ禍において、各種制約を受けている子供たちから「本当の気持ち」を聞いてみたい。公表しないまでも、何らかの形で残して、反映できれば良いと考える。本校の取り組みは、親の立場から実際に見ると評価は高くなると思う。

来校する機会が少ない方は、低い評価となってしまうことが懸念される。保護者は、学校の取組内容を是非見た方が良い。

安心・安全に配慮した取り組みは、生徒、保護者に伝わっている。

地域にとって大切な学校、生徒達が誇りに思い、皆様に必要とされる学校であり続けてほしい。

<回答>

⇒副校長

学校評価については学校ホームページに掲載する予定である  
保護者の自由記述欄に、見ていないのでわからない旨の記載がある。  
貴重な意見をいただいた。オンラインで生徒の様子を配信するなど  
により、保護者の理解・安心が得られる方法を検討したい。